

ラグビーワールドカップ2019™ ボランティア インタビューその1 (峯田 義之さん)



2019年も残すところあとわずか。色々な出来事がありました。何と言っても今年はラグビーイヤー。ラグビーワールドカップ2019が非常に大盛り上がりを見せました。

今回はボランティアの方がどんな思いを持って大会を支えてくださったのか、そんなお話をお届けします。少し早い今年の締めくくりとともに、大会の感動と興奮を思い出していただければと思います。

「おかげで楽しく出来ました！」

笑顔で話始めた峯田さんからは長期にわたる大会のボランティアの終了時のインタビューにも関わらず、とても清々しい印象を受けました。

ボランティアに申し込んだ理由は、大きな大会に関われる、企画する側からそれを楽しむことが出来るということでした。

峯田さんは、今回のラグビーワールドカップ2019™でボランティアを束ねるリーダー役としてその重責を担って頂いていました。

リーダーとしてのポイントは？

「あ・た・ま」です！

とのこと。「明るく、楽しく、前むきに」の頭文字を取って「あ・た・ま」というキーワードを独自に作られたそうです。

ボランティアの仲間から、

「峯田さんがリーダーの役割をして頂いて、とても楽しかったです」

と言われたことが一番嬉しかったことだったとおっしゃっていました。

また国際大会という特別な機会は本当に一生に一度の貴重な体験で、特に海外からいらっしゃったお客様が陽気でとても楽しかったと嬉しそうに語って頂きました。



そんな峯田さんですが、今度は来年の東京2020オリンピックでもボランティアをまとめるリーダー役として、すでに準備を進めていらっしゃるそうです。

「東京2020オリンピックで、横浜は、野球・ソフトボール・サッカーの会場になります。たくさんのお客様がまた今回のように横浜に訪れますので、街が活気づくと思います。その時に、ボランティアと市民の皆様とタッグを組んで盛り上げて行きたいです！」

とその意気込みを語っていただきました！

来年、会場で峯田さんを見かけたら是非お声がけしてみてください。

きっと素敵な笑顔で応えて頂けるはずですよ。

